

## 通学安全部会 第8回会議

■開催日時 令和3年6月25日（金）18：00～18：50

■場 所 米本小学校 ICTルーム

■議 題 （1）通学支援バスの経路及び停留所について  
（2）現在の阿蘇小学校のバス時刻表について  
（3）「米本ルート」のバスにおける所要時間について  
（4）その他

■出席者 部会長（高原米本小校長）、部会員11人（阿蘇小教頭、米本南小教頭含む）

■事務局 保健体育課4人

■公開・非公開の別 公開

■傍聴人 1人（定員3人）

■審議内容

議 題1 通学支援バスの経路及び停留所について

第7回会議及びバス運行事業者と協議した結果を反映した通学支援バスの経路及び停留所の資料を事務局より配付し、説明・提案

○委員からの意見及び質疑・応答

・米本コースは、実際に歩いてみて検討した結果とほぼ一致しているため問題ないと考ええる。

Q. 1台のバスを3周させると最初と最後の時間差がかなり開いてしまうことが想定されるが、バスの台数を増やす対応はできないのか。

A. バスの台数については、今後検討していく。バスルートの変更や2周目以降はショートカットする等の工夫等、台数を増やさない方法でできるだけ対応する。それでも難しいようであれば台数を増やす方向としたい。

Q. 城橋コースは渋滞等を考慮すると時計周りのほうが良いように感じるが、児童が道路を渡る必要が生じる。その点については保護者にも協力してもらう方向で良いか。

A. 時計周りに設定した場合、保護者の協力も必要と考える。

Q. マイクロバスの長さはどれくらいか。長さによってはヘアピンカーブ等の対応が必要ではないか。

A. 7メートル程度を想定している。バス会社はどちらのルートでも運転可能とのことだが、時間通りの運行を考えると、時計周りが良いと思われる。

議 題2 現在の阿蘇小学校のバス時刻表について

資料を事務局より配付し，説明

○委員からの意見及び質疑・応答

・特になし

議 題3 「米本ルート」のバスにおける所要時間について

資料を事務局より配付し，説明・提案

○委員からの意見及び質疑・応答

Q. 1台のバスを3周させる計画は感染症拡大防止の観点から設定しているのか。

A. そのとおりである。ただしバスの利用者が想定よりも少ない場合は2週の計画も検討するべきと考えている。3周と2周では時刻設定の余裕が全く違うため，利用者の利便性を考えると2周なのだが，感染症拡大防止の観点からは3周が望ましい。

Q. 3周する場合，利用する児童生徒が乗るべきバスの割振りはどうなるのか。

A. 現在の阿蘇小学校のように学年別に割振ることを想定している。ただし，乗り遅れた児童生徒については，次のバスに乗ってもらう等柔軟に対応していく。

Q. 朝の渋滞等を考慮すると，2周にして余裕をもった運行スケジュールにしたほうが良いのでは。

A. 学校の始業時刻も運行スケジュールに影響してくるため，他部会と情報共有しながら余裕を持ったスケジュールを今後提案していく。

議 題4 その他について

事務局より今後の乗車数を把握するための調査に関するスケジュールについて説明。

令和3年8月 調査内容検討

令和3年9月 調査を保護者に配布・回収

令和3年10月～ 分析

次回は，7月30日（金）18：00～ 場所は米本小学校とした。